

管内の主な水害の歴史

1896年（明治29）7月22日 横田切れ

大雨により信濃川の水嵩が増大し、西蒲原郡横田村（のち分水町への編入を経て、現 燕市横田地区）の堤防を始めとして、多くの堤防が決壊した。この水害は、1909年から建設がはじめられた大河津分水路建設（1931年完成）の契機となった。

大河津分水完成により、信濃川本流が破堤することはなくなったが、支流においてはその後も、洪水により堤防が切れる被害が発生している。

1961年（昭和36年）8月5日 8.5集中豪雨

刈谷田川左岸の長岡市五百刈で破堤し、南蒲原郡中之島町（現 長岡市中之島地域）が浸水した。破堤箇所付近には約600万 m^3 の土砂が堆積し、耕作不能となったほか、湛水した泥水は出穂前の稲を腐らせ、焼き払われた。

1964年（昭和39年）7月7日 7.7水害

南蒲原郡中之島町（現 長岡市中之島地域）五百刈、猫興野などで破堤、昭和36, 39年の一連の水害を契機として刈谷田ダムが建設されることになった。

1969年（昭和44年）8月12日 加茂川水害

8月12日、加茂市では午前4時から9時までの降雨量が211.4mmとなり、加茂川には流下能力の3倍ほどになり、加茂市街地で洪水が発生した。この水害を契機に加茂川は改修され、川幅が2倍になり、河川敷は親水公園として整備された。

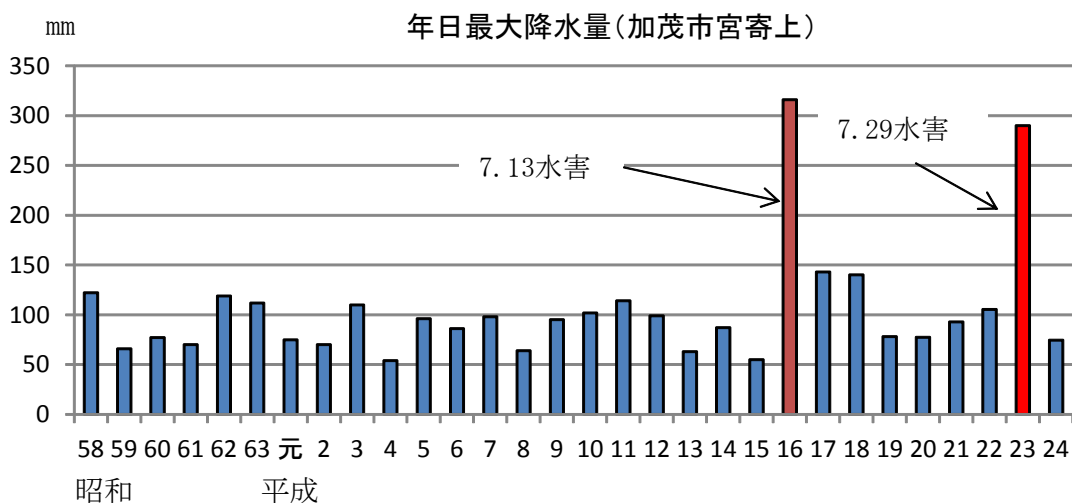
また、五十嵐川流域に多くの被害を出したことなどにより、大谷ダムが建設されることになった。

1978年（昭和53年）6月26日 6.26水害

停滞した梅雨前線に伴う大雨により、五十嵐川出水、嵐南地区などで被害が発生した。

2004年（平成16年）7月13日 7.13水害

中越地域の広い範囲で未曾有の集中豪雨に見舞われ、五十嵐川、刈谷田川などが破堤し、流域一帯に甚大な被害をもたらした。この水害を契機として五十嵐川では河道の拡幅などが行われている。



(出典) 国土交通省HP、気象庁統計情報ほか

平成23年7月
新潟・福島豪雨災害の記録

～三条地域の農作物、農地・農業用施設の被害と復旧～

平成25年3月発行

発行

新潟県三条地域振興部農業振興部

〒955-0046 三条市興野1-13-45 TEL0256-36-2270



災害復旧工事が完了した北五百川の棚田（H24年6月撮影）



新潟県

平成23年7月

新潟・福島豪雨災害の記録

～三条地域の農作物、農地・農業用施設の被害と復旧～

新潟県三条地域振興局農業振興部